

けいじばん

- 9/11 事故究明対策委員会報告及び伐採作業要領暫定版；9月以来3ヶ月にわたり長村委員長を中心に鋭意調査究明・実地検証を重ねた結果を報告書及び新作業要領暫定版として添付します。(12月3日活動参加者には配布済)
- 技術研修会等；里山センター企画の研修会への参加をお勧めします。(「お知らせ」添付、メール会員には送信済)
- 次回活動日のご案内；1月22日(日)9時40分森林館駐車場集合。主な活動メニュー：巨木林整備(伐採・玉切り・片付け)、木工など。携行品：弁当・飲み物、ヘルメット、鉋、鋸、チェーンソー持参者はゴーグル。
- 会員名簿更新；12月3日更新名簿を添付します。個人情報扱いにご留意下さい。メール会員には会報誌後送信。

かつどうのきろく

12月3日(土) 晴 参加会員17名、吉原先生

- 伐採作業要領の説明・実演；9/11事故の反省から伐採作業要領を見直して作業再開するにあたり、長村委員長から新作業要領の説明が行われ、新要領による作業実演を行って全員に安全作業の周知徹底を図った。
- 巨木林整備(伐木・玉切り・片付け)；3班に分かれ新要領に従って役割分担(班長・合図係・伐採係・牽引係)を決め作業開始。チェーンソーの苺米班、長村班に今回から手鋸作業の村野班が加わり3班編成。新要領の目玉「合図の励行」に緊張気味の掛け声と笛が響き渡り、赤い手旗がオーバーに動く。今回から大径木伐採を止め15^{センチ}以下の小径木のみ、伐採本数は去年の半分にも満たないが何故か皆の士気は高くチームワークも良い。
- リースづくり教室；午後は待望のリース教室、伊藤先生に生徒4人、真剣な手つきで藤ツルのリース台にヒイラギ、松傘、ドングリにムラサキシキブ、サルトリイバラなど色とりどりの実で飾りつけ、立派な作品の出来栄。



伐採作業再開前の緊張感 12/03/05



リースづくりに熱中 12/03/05



八の字伐採法実演 12/03/05

- 植物調査は吉原先生お一人で行われ、ニッケイ、ホシダ、ゲジゲジシダ(新)の3種が確認された。

- 忘年会；於国民宿舎清和、参加13名、坂本代表挨拶、吉原先生の乾杯の発声で開会、今年度入会した3会員の自己紹介に続き、参会者からそれぞれの興味深い体験が紹介された。ネパール帰りの高塚会員の話からネパール先輩の高橋・小又会員の経験談、凧揚げや棚田・有機農業・長狭米、吉原先生提供の房総の地層・自然・歴史・特産品等々の話題、習志野の森に会津の森林や桜枝岐歌舞伎の話まで、多士済々の多彩な話に花が咲き、山芋ときのこ尽しの料理に会津の名酒や清和のムカゴ焼酎を賞味しつつ、和やかな楽しい2時間でした。二次会は霧島の焼酎やチューハイを舐めながら、森や植生の話、豊英島のニホンシカ論争「共生か駆除か」など深夜まで延々と。



忘年会は大盛況 12/03/05

12月4日(日) 曇後雨 参加会員11名

- 巨木林整備；前日に続きチェーンソー伊藤班1班と手作業の村野班、2人挽き鋸使用、二人の呼吸が合えば伐採も玉切りもリズム良く出来る。昼前から雨あし強くなり早々に作業中止。
- きのこ収穫・調査・調理；ナメコは豊作で大の男たちが収穫に這い回り3.13^{センチ}、ムキタケ1.69^{センチ}、シイタケ、クリタケ少々。ナメコはナメコ汁に、シイタケは長村シェフ準備の手臼挽き小麦粉のピザ台にトッピングし特製きのこピザに。2年間放置されていたテントを張り、ナメコ汁で体を温め、シェフの指導でピザ台を延ばし、特注ピザ釜で焼いた手作りピザを味わう最高の贅沢。次頁の写真をご覧下さい。

わんぱくぼうずが遊んでいるみたいだ！

・「千年の森」 12月の活動に参加して・

木更津市 高塚肇子

国民宿舎での忘年会が明けて、4日の活動に参加した時の印象です。裏山で杉の木を倒しターザンごっこをしたり、秘密の穴に人の骨があると聞き探検に出かけた子供の頃の懐かしい思い出が蘇ってきたのだ。



‘昼頃から雨’の予報が外れて豊英島に着くと間もなく雨が降り始めた。伐採作業から引き上げてきた面々がブルーのシートで簡易テントを建てドラム缶で作った炉が運び込まれ火が起こされる。キノコ汁が湯気をあげ、炉に乗せられた網の上で秋刀魚や、キノコが焼かれる。N氏がやはりドラム缶で手作りしたオーブンを据え煙にいぶされながら火おこしにかかる。穴だらけのシートからたれる雫をよけながら手作りのピザを焼いたり、収穫したキノコを入れた味噌汁をすする謹厳実直なおじさんたちの顔はわんぱくぼうずそのものに見えたのだ。



千年の森をつくる会…なんて壮大な話だろう。40年以上山に登り続けてきたが、60歳の声を聞く頃から体力が落ちてきたのを感じていた。結果として、植物に興味を持ってのんびり歩くようになり自然の中に身を置くだけで幸せだと思っていたのだが。子供が独立、両親を見送り、退職して暇ができてみると、何か物足りなさを感じ始めた頃、ホームページでこの会を知り体験入会を経て入会したのが9月。まだホヤホヤの新米です。県民の森の駐車場で初対面のS氏の姿は地下足袋に作業服、腰に鉋を下げた立派な森林作業員のいでたちそのもので、簡単に考えていた私は自信を失くしてしまった。それでもY先生に付いて植物の観察をしたり、コナラ更新の調査のお手伝いをするうちに豊英島の自然の豊かさに魅せられて、何とか教えていただきながら活動を続けられるかなと思っていたやさきに事故がおきた。その後の反省会や会員の間にやりとりされる真剣なメールを通して会の考え方を知るきっかけになる反面、生半可な気持ちで森林整備は出来ないのだと再び自信喪失。そんな時の忘年会と2日間の活動参加だった。3日の伐採作業、リース作りと、4日の思いがけない野遊びの楽しさ、なにしろ千年の森を作ろうという会だ。ゆっくりゆっくり教えていただきながら少しでもお役に立つよう努力したいと思い始めたこの頃です。



「ちば千年の森をつくる会」との出会いと活動

千葉市 根津昌之

平成17年1月23日「里山フォーラムINちば」市原市市民会館に、上善峰男氏(森林文教研究会)・鈴木敦氏(千年の森)と参加しました。講演及び対談は有意義でした。ロビーに「ちば千年の森をつくる会」の展示ブース(活動状況のパネル展示・チラシ・コナラ切り株等)拝見し、私は「森林作業」未経験ですが「これだー」と心の中で叫んだ。今後の人生方向が決定した瞬間でした。生涯学習を里山(自然)と教育に微力ですが少しでも、奉仕・貢献・還元(恩返し)に努力したいと思っています。

千年の森平成16年度の最終活動日に参加しました。針葉樹「モミ」「カヤ」「ツガ」の区別がやっと判る様になり、千年の森植生調査「植物リスト」(針葉樹・常緑広葉樹・落葉広葉樹・ツル植物・タケ、ササ・草木植物・シダ)を片手に吉原洋先生のご指導(名解説)で植物観察及び植生観察に感謝しています。又、豊英島の今昔物語には感動しました。

12月3日(土)長村副代表の「伐採作業要領(別紙)」説明あり、伊藤班長・苺米班長・村野班長の班編成(合図係・伐採係・牽引係)し作業開始 予告合図「たおすぞー」ピッ ピー 本合図「たおれるぞー」ピー ピッ ピー終了合図「おわったぞー」ピー 豊英島中に鳴り響く 初体験のノコギリ、小径木の伐採(受け口/追い口)枝切り・玉切り(炭焼き用ほか)・片付け、八の字伐採には、達成感がありました。伊藤幹事のリース作りは素晴らしいです。(クリスマスに間に合いますね・・・) 宿泊先の国民宿舎「清和」での忘年会は、大盛況(二次会あり)でした。12月4日(日)は、昨日の伐採作業続行 天気予報より早く雨が降り出した。千年広場で長期に休息していた「テント?」を、全員で立ち上げに成功 凌ぐ事ができた。(バンザイ・バンザイ) 昼食は、真鍋副代表の名物鍋(ナメコ・ムキタケ・クリタケ・シイタケ・ヒラタケ等) 村野幹事ご提供の「サンマ焼き」 長村副代表のピザ「サラミ・ツナ・ミソ味」作りは、プロの味でした。(注 小麦は自家製です) コーヒー付でした。雨も上がり千年の森の紅葉が最高でした。今後共、よろしくご指導お願い申し上げます。